



はあもにい 第34号

- ・発行日 2012年8月10日
- ・発行 ポプリ生活介護事業部
- ・編集 はあもにい編集委員会
(0144) 87-3800



ななかまど設立20周年を祝って

※白老ロータリークラブ様のご協力を頂き、桜の苗木を記念植樹致しました。



平成24年5月22日 ななかまど20周年記念セレモニー 共生型事業所「はあもにい」前にて

福祉施設は郊外(山の中)にある、そんな不自然で当たり前だった平成4年、「ななかまど」は白老の真ん中に位置する福祉施設としてスタートしました。

20年という節目は、多くの皆さんに育てていただいた20年であり、この感謝の気持ちを形にしようと、話し合いを重ねました。その結果「ななかまど」のパンについては、もっとおいしいパンに生まれ変わることをテーマに研修や試作を重ね、今までにない柔らかさと風味を実現しました。大変高度な製造技法ですが、「食パン」を食べていただければその違いを理解していただけたと思います。これからも、白老の「ななかまど」として成長していきますので、応援宜しくお願い致します。

ポプリ施設長 北平

20歳おめでとう！！

ななかまど20周年セール開催！！



「ななかまど」では今年で20年目を迎え、美味しいパンを目指して「をコンセプト」に素材、売場、サービスをこだわったお店として、昨年の秋頃から全てのパン製品や店舗レイアウトなどについて見直しを行い準備してきました。

始めは戸惑いや失敗の連続で大変でしたが利用者さんと共に試行錯誤の末、ようやくソフトな生地に仕上がったことやフーリングタ等にも自家製にこだわりの「きたるまん」という小豆を使用した上品な甘さの餡子が完成する等、より安心・安全な美味しいパンとなりました。

更に店舗の改装も行い、壁にレンガを貼り付け、大きな「ななかまど」のロゴが入ったボードを設置。温かみのある木目のレジカウンターやキッチンカウンターを置くことで、パン屋さんの雰囲気演出でき清潔感あるお店となりました。

5月25日・26日のリニューアルオープンでは多くのお客さんが来店し「明るくなったね、広くなったね」とビックリされるお客さんや「美味しくなったね」と言ってくださるお客さんの声を頂き本当に有難う御座います。

20歳を迎えた「ななかまど」としてこれからも美味しいパンを作りお客さんが喜んで頂けるお店作りを目指して参ります。

ポプリ主任 中道

共生型事業開始

本年3月よりスタートした愛泉園利用者のケアホームへの移転に合わせて、川沿地区に「共生型事業所」はあもにいが開設されました。はあもにいには、ケアホームの支援拠点、法人本部機能のほか、共生型事業所としての機能も兼ね備えています。

共生型事業所は、地域住民である高齢者・児童・障がい者などが集まり、交流を図ることを目的に設立され「地域の中で健康的に、いきいきと共に暮らす」ことを目指した活動を行います。

なお、建設資金の一部として、厚生労働省の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金による助成を受けることができました。

6月には、共生型としての事業を実際に企画・運営する「共生型事業運営委員会」が、星貢委員長のもと、地域活動の経験者や法人職員による10名の委員により発足されました。

委員会では、各委員による積極的な意見交換がなされ、色々な企画が提案され、今後、随時実施されて行くことになりました。

ポプリ支援課長 高井



近所野菜市

家庭菜園で育てた野菜を持ち寄り販売をする場所を提供することを通じて、地域住民の交流を促進します。

8月3日(金)より9月11日

(火)までの期間、毎週火曜・金曜日の日程で実施します。

※13時～14時まで

※小雨決行(売切り次第終了)



寺子屋事業

地域の児童を対象とした現代版寺子屋を開催します。様々な活動を計画し実施する中で、地域内での児童が高齢者との関われる機会を通じ、児童の健全なる発育を図ります。

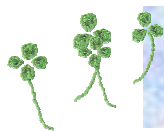
第1回夏季寺子屋事業として、8月7日(火)に、町内の小学校児童15名が参加し「自分オリジナルの巣箱づくり」と題した木工教室が行われました。



ほっこり食堂

交流を求めている方や外出機会の少ない方などの高齢者に集まっていたいただき食事や楽しい会話を通じてコミュニケーションを深めるための機会を提供します。

8月23日(木)より月2回の予定で開催します。60歳以上の方を対象とします。申込は「はあもにい」まで。



青葉会20周年に向けて



あぶろ通信



4月26日、平成24年度の青葉会総会が「はあもにい」で行なわれました。役員改選では笠谷さんが会長復帰し、副会長には田中さん・土門さんが初選出されました。若い役員を中心に、青葉会20周年にふさわしい行事について熱く話し合いが行なわれました。今回から運営委員会も行事に向けて開催される予定です。

あぶろ 第1支援課 河崎



飲んで食べて楽しんで

青葉会焼肉会



お天気に恵まれた6月30日、青葉会焼肉会は実行委員会メンバーを中心に買い出し・野菜切りから・会場設営等の準備を行ないました。

森理事長挨拶・センター長の乾杯の音頭で会食開始。世話人さんが早くから準備していた焼きそば・シンギスカン・焼き鳥は焼いた傍らから完売。更に力キ氷や差し入れのアイスも好評で、皆さん各自マイペースに食べており、それぞれに楽しんでいました。昨年の豪雨とは打って変わって、暑い日でビールも進みました。5時過ぎには会食終了。最後は一本締めで今年度最初の青葉会行事を終えました。実行委員さんお疲れ様！

あぶろ 第1支援課 河崎



男の料理サークル

今年度初めての料理教室は「はあもにい」にて、参加者全員男性の「男の料理教室」となりました。

皆さん手慣れた様子でキャベツ・イカ・ねぎを切り「お好み焼き」を作りました。

ホームのりんの利用者さんも初参加でお腹一杯楽しみました。デザートには力キ氷が登場。

今回は「餃子にしよう」との声でメニュー決定。まいっくでした。

第1支援課 加藤

ソフトボールサークル

天候は曇り。ポプリ2回目のクラブ活動として地域からの参加もあり総勢28名で始まりました。

ランニング・体操・キャッチボールの後、トスバッティングと内野ノックを行い、松野チームと野中チームに分かれての試合。接戦の末、4対4の引き分けにて試合終了。キャッチャーは手や体にボールを当てながらも痛そうに頑張っていました。他の施設との試合がしたいとの声も上がっています。

第1支援課 河崎



ケアホーム日記

いころ・のんの・れら・とも・そら



ケアホーム生活5ヶ月が経って

入所施設から地域へと移行し、早くも5ヶ月が過ぎようとしています。一部屋2〜4名の居室で暮らしていた今までの施設生活にくらべ、個室で趣味を満喫できる時間を持つということはどれだけ素晴らしいことかをあらためて実感しているところです。

また、個人の時間が増えたことはもちろんのことですが、ここ最近では、ホーム内の結束力も強まり、卓上でホットプレートで囲み餃子やお好み焼きを作ったり等、アットホームなイベントをどんどん取り入れて生活を共にしています。

「生活の場」と「職場」を分けること「職住分離」によって生活のリズムにメリハリが出てきています。地域移行がゴールではなく、ここからがスタートだということとを忘れずいつも普通の生活をしたしたいと思います。

あぷろ第2支援課 久保田



初出品！ 白老町 紙フェスティバル



7月1日に行われた白老紙フェスティバルに、愛泉園として貼り絵を出品しました。畳二枚分の大きな貼り絵の為、制作時間が二ヶ月かかり療育班を筆頭に全員が少しずつ手を掛けることが出来ました。細かい作業と一つのことにより時間・期間をかけたため、集中力が途切れてしまうことがありましたが、それでも完成させることが出来たのは全員で参加することを決め、最後までやり遂げたいという思いがあったからかも知れません。

当日は来場者も多く、たくさんの方に「すごく細かくて大変だったでしょう」という言葉をかけていただきました。普段利用者さんが頑張っている姿が少しでも周りの方に理解され、評価されたことが嬉しく思います。また、残念ながら賞は取れませんでした。皆の顔からは「やりきった感」がとても感じられ素晴らしい作品だったと改めて感じる事ができました。

愛泉園支援員 長野



野外調理体験



7月13日、愛泉園では野外調理を実施しました。今回の活動を通して食の大切さや喜びを感じて頂けたらと思います。カレーライスとアルミ缶を用いた炊飯、炭火を利用したポップコーンを作りました。利用者の方はじゃがいもの皮むきに少々てこずっていた様子でしたが積極的に手を動かし真剣だったのが印象的でした。

今回のメインはアルミ缶炊飯で炊飯用、コンロ用の缶を用意し牛乳パックを燃料にして職員が炊飯の見本を見せました。皆さんはそれを真似しご飯が炊けるまで火を絶やさないように頑張りました。あちこちで「熱い」「缶が倒れた！」などの騒ぎもありましたが煙に巻かれながら奮闘すること30分、程よい焦げ目のついた美味しいご飯が炊き上がりカレーライスとして頂くことが出来ました。炊飯の苦労はありましたが楽しい活動となったのではないかと思います。

愛泉園栄養士 竹田

社会福祉法人 白老宏友会

平成23年度 事業報告及び決算報告

☆平成24年5月28に行われました。当法人理事会にて承認されました平成23年事業報告及び決算について

1、主な事業報告

法人運営	事業の経過
- 法人経営の企画立案と財政健全化を図った。 - 法人本部機能を市街地に移行する準備期間として進めた。 24年度社会福祉施設等整備の申請と関連部門の準備を進めた。 - 職員採用に向けた取り組みを早期に実施した。 - 新会計基準の実施に伴う研修を行った。 - 各事業の連絡、調整、連携を密に図った。 - 要覧、ホームページの更新、機関紙「はあもにい」の発行、監修を行った。 - 共生型、新築ケアホームの開設に伴う落成式を行った。 - 会計経理の適正な処理を行った。	「あぶろ」 ・夜間支援体制共同生活介護住居の開設を行った。 ・共生型、ケアホーム5棟を市街地に建設した。 ・地域生活支援センターの一部をグループホームに改修した。 ・日本財団の助成決定で送迎車両マイクロバス（29名乗り）を購入整備した。 「ボプリ」 ・就労継続支援B型事業の充実を図った。 ・保護者と合同による新年会を実施した。 ・ボプリ正面玄関屋根の修繕を行った。 ・生産活動備品として製粉機、あん練り機を購入した。 ・車輛の購入を行った。（送迎車輛15名乗り1台、軽トラック1台） 「白老愛泉園」及び「愛泉園」 ・白老愛泉園において、基盤整備事業を利用し新体系移行に伴う内部改修を図った。 ・新体系に向けたサービス管理責任者養成の取り組みを図った。 ・平成24年度施設整備に伴う建設申請準備を行った。（生活介護事業所）
利用者状況	
「あぶろ（共同生活介護、共同生活援助一体型事業所）」 定員 84名 ・ケアホーム・グループホーム一体型事業所 11カ所 ・ケアホーム 5ヶ所 ・短期入所事業 定員 3名 「ボプリ（多機能型事業所）」 定員60名（在籍者：75名） ・就労継続支援B型事業 50名 ・生活介護事業 25名 「愛泉園（多機能型事業所）」 定員45名 ※平成24年3月1日より ・就労継続支援B型事業 10名 ・生活介護事業 35名 「白老愛泉園（知的障害者更生施設）」 定員47名 ※平成24年2月29日まで ・入所 40名 ・通所 7名	

2、決算報告

貸借対照表

平成24年3月31日現在

〔法人全体〕

〔単位：円〕

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	298,628,584	流動負債	120,484,198
現金預金	143,185,128	買掛金	5,649,357
売掛金	1,970,473	未払金	19,800,420
商品・製品	96,363	預り金	3,415,807
原材料	3,722,645	前受金	0
未収金	148,271,960	賞与引当金	6,618,614
立替金	1,161,207	短期運営資金借入金	85,000,000
前払金	220,808		
固定資産	900,026,332	固定負債	160,007,520
基本財産	527,070,571	設備資金借入金	146,000,000
建物	444,015,045	退職給与引当金	14,007,520
土地	82,055,526		
基本財産特定預金	1,000,000	負債の部合計	280,491,718
その他の固定資産	372,955,761	純資産の部	
建物	74,212,293	基本金	111,155,798
構築物	40,438,223	基本金	111,155,798
機械及び装置	19,529,596	国庫補助金等特別積立金	204,176,057
車輛運搬具	13,527,779	国庫補助金等特別積立金	204,176,057
器具及び備品	6,651,210	その他の積立金	159,356,321
土地	43,984,081	移行時特別積立金	1,725,000
建設仮勘定	0	その他の積立金	157,631,321
投資有価証券	10,000	次期繰越活動収支差額	443,475,022
移行時特別積立預金	1,725,000	次期繰越活動収支差額	443,475,022
その他の積立預金	157,631,321	（うち当期活動収支差額）	33,984,448
退職共済預け金	14,007,520		
その他の固定資産	1,238,738	純資産の部合計	918,163,198
資産の部合計	1,198,654,916	負債及び純資産の部合計	1,198,654,916

資金収支計算書

(自)平成23年 4月 1日 ～ (至)平成24年 3月31日

[特別会計：ポプリ、愛泉園]

[一般会計：法人本部、あぶろ、白老愛泉園]

勘定科目			(単位：円)
金額			
就労事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	69,243,755
		就労支援事業収入計	69,243,755
	支出	就労支援事業支出	67,955,332
		就労支援事業支出計	67,955,332
		就労支援事業活動資金収支差額	1,288,423
福祉事業活動による収支	収入	自立支援費等収入	140,138,472
		補助事業等収入	6,470,892
		経常経費補助金収入	81,740
		寄付金収入	41,000
		雑収入	8,372,755
		受取利息配当金収入	59,957
		会計単位間繰入金収入	63,864,933
		福祉事業収入計	219,029,749
	支出	人件費支出	86,723,867
		事務費支出	16,932,563
		事業費支出	12,992,791
		会計単位間繰入金支出	28,575,000
		福祉事業支出計	145,224,221
		福祉事業活動資金収支差額	73,805,528
	収入	設備整備等収入計	0
		固定資産取得支出	6,113,718
		設備整備等支出計	6,113,718
		施設整備等資金収支差額	▲ 6,113,718
施設整備等に よる収支	収入	積立預金取崩収入	5,630,663
		財務収入計	5,630,663
	支出	積立預金積立支出	21,873,075
		財務支出計	21,873,075
		財務活動資金収支差額	▲ 16,242,412
財務活動による収支		当期資金収支差額合計	52,737,821
		前期末支払資金残高	72,551,483
		当期末支払資金残高	125,289,304

勘定科目			(単位：円)
金額			
經常活動による収支	収入	自立支援費等収入	195,986,099
		補助事業等収入	4,672,940
		経常経費補助金収入	23,750
		寄付金収入	6,126,471
		雑収入	4,009,970
		受取利息配当金収入	23,609
		会計単位間繰入金収入	21,375,000
		経理区分間繰入金収入	34,962,000
		經常収入計	267,179,839
	支出	人件費支出	130,642,803
		事務費支出	30,838,221
		事業費支出	27,139,024
		借入金利息支出	1,150,845
		会計単位間繰入金支出	63,864,933
		経理区分間繰入金支出	34,962,000
		經常支出計	288,597,826
		經常活動資金収支差額	▲ 21,417,987
施設整備等に よる収支	収入	施設整備等補助金収入	111,154,000
		設備整備等収入計	111,154,000
	支出	固定資産取得支出	357,959,327
		設備整備等支出計	357,959,327
		施設整備等資金収支差額	▲ 246,805,327
財務活動による収支	収入	借入金収入	140,000,000
		積立預金取崩収入	95,508,195
	支出	財務収入計	235,508,195
		借入金元金償還金支出	1,000,000
	支出	積立預金積立支出	35,000,000
		財務支出計	36,000,000
		財務活動資金収支差額	199,508,195
		当期資金収支差額合計	▲ 68,715,119
繰越活動の部収支		前期末支払資金残高	117,169,807
		当期末支払資金残高	48,454,688

事業活動収支計算書

(自)平成23年 4月 1日 ～ (至)平成24年 3月31日

[特別会計：ポプリ、愛泉園]

[一般会計：法人本部、あぶろ、白老愛泉園]

勘定科目			(単位：円)
金額			
就労支援事業活動の部	収入	就労支援事業収入	69,243,755
		就労支援事業収入計	69,243,755
	支出	就労支援事業販売原価	54,639,178
		販売費及び一般管理費	15,906,869
		就労支援事業支出計	70,546,047
福祉事業活動収支の部		就労支援事業活動収支差額	▲ 1,302,292
	収入	自立支援費等収入	140,138,472
		補助事業等収入	6,470,892
		経常経費補助金収入	81,740
		寄付金収入	41,000
		雑収入	8,372,755
		国庫補助金等特別積立金取崩額	688,504
		福祉事業活動収入計	155,793,363
	支出	人件費支出	83,537,926
		事務費支出	16,139,123
		事業費支出	12,992,791
		減価償却費	6,341,459
		引当金繰入	5,323,754
		福祉事業活動支出計	124,335,053
		福祉事業活動資金収支差額	31,458,310
事業活動外収支の部	収入	受取利息配当金収入	59,957
		会計単位間繰入金収入	84,180,872
	支出	事業活動外収入計	84,240,829
		会計単位間繰入金支出	28,575,000
		事業活動外支出計	28,575,000
特別収支の部		事業活動外収支差額	55,665,829
		經常収支差額	85,821,847
	収入	特別収入計	0
		特別収支差額	0
繰越活動の部収支		当期活動収支差額	85,821,847
		前期繰越活動収支差額	160,214,971
		当期末繰越活動収支差額	246,036,818
		その他の積立金取崩額	5,630,663
		その他の積立金積立額	21,873,075
繰越活動の部収支		次期繰越活動収支差額	229,794,406

勘定科目			(単位：円)
金額			
事業活動収支の部	収入	自立支援費等収入	195,986,099
		補助事業等収入	4,672,940
		経常経費補助金収入	23,750
		寄付金収入	6,126,471
		雑収入	4,009,970
		国庫補助金等特別積立金取崩額	2,757,853
		事業活動収入計	213,577,083
	支出	人件費支出	126,302,059
		事務費支出	36,206,776
		事業費支出	32,489,854
		減価償却費	11,514,012
		引当金繰入	3,214,580
		事業活動支出計	209,727,281
		事業活動収支差額	3,849,802
事業活動外収支の部	収入	受取利息配当金収入	23,609
		会計単位間繰入金収入	21,375,000
		経理区分間繰入金収入	171,016,571
		事業活動外収入計	192,415,180
	支出	借入金利息支出	1,150,845
		会計単位間繰入金支出	84,180,872
		経理区分間繰入金支出	163,816,571
		事業活動外支出計	249,148,288
		事業活動外収支差額	▲ 56,733,108
		經常収支差額	▲ 52,883,306
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	111,154,000
		国庫補助金等特別積立金取崩額	1,045,907
	支出	特別収入計	112,199,907
		国庫補助金等特別積立金積立額	111,154,000
		特別収支差額	1,045,907
繰越活動の部収支		当期活動収支差額	▲ 51,837,399
		前期繰越活動収支差額	205,009,820
		当期末繰越活動収支差額	153,172,421
		その他の積立金取崩額	95,508,195
		その他の積立金積立額	35,000,000
繰越活動の部収支		次期繰越活動収支差額	213,680,616